

事業概要

●五條新宮道路

五條新宮道路は、高規格幹線道路である京奈和自動車道、近畿自動車道紀勢線を南北に結ぶ地域高規格道路です。

奈良県五條市を中心とする南和地域集積圏と新宮市を中心とする新宮地域集積圏との連携強化、交流促進を図るとともに、「県内のスムーズな移動を目指す道路ネットワーク」を実現するため、紀伊半島内陸部に必要となる規格の高い幹線道路です。

■計画の緒元

- 路線名：一般国道168号
- 区間及び延長
区間：自)和歌山県新宮市 至)奈良県五條市
延長：L≒130km(奈良県域延長：約90km)
- 道路の区分：第3種第2級
- 車線数及び設計速度

車線数	設計速度
2車線	V = 60 km/h

●辻堂バイパス

最新の技術を取り入れた多岐にわたる橋梁・道路構造物を計画

宇井～小代区間には、急カーブが連続しており、異常気象時の通行規制や崩土・落石等による通行止めが頻繁に発生しています。また、道路幅員が非常に狭い箇所が多く、地域の発展を阻害する一因となっています。

このため、平成10年12月に旧大塔村宇井～小代間が辻堂バイパス整備区間の指定を受け、平成11年度に本格的な調査・設計が始まり、平成13年度より工事を行っています。

■計画の緒元

- 路線名：一般国道168号 辻堂バイパス
- 区間及び延長
区間：自)奈良県五條市大塔町宇井 至)大塔町小代
延長：L≒4.1km

■事業の経緯

- H8年度 旧大塔村宇井～阪本間を調査区間に指定
- H10年度 辻堂バイパス整備区間に指定
- H11年度 測量、地質調査、道路・構造物の設計を開始
- H13年度 工事着手

●「五條新宮道路」が全線整備されると…

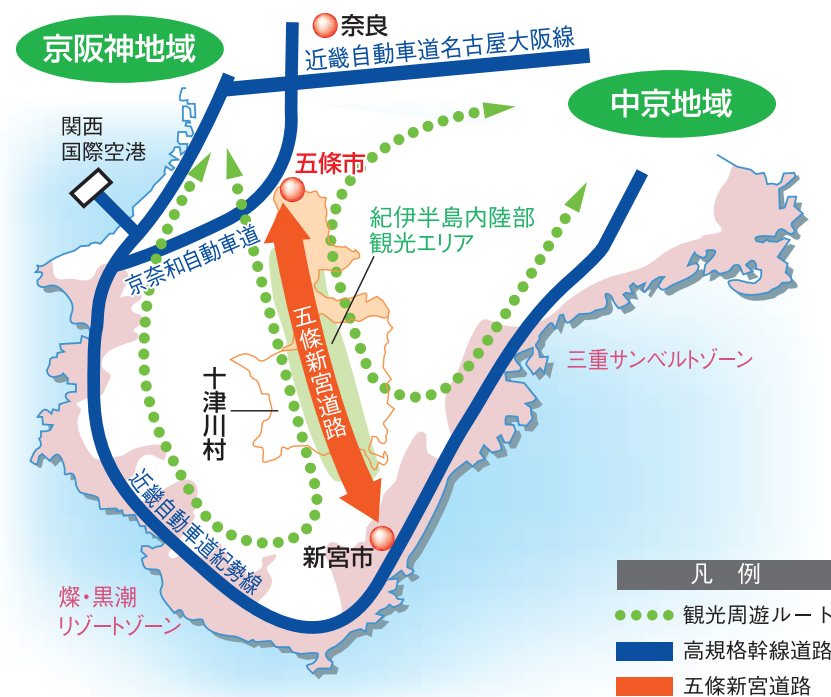
■地域の活性化

- 大都市圏までの時間短縮が図られ、輸送コストの低減、出荷先の拡大が可能となり地域産業の活性化を促します。
- 京阪神地域から紀伊半島内への観光輸送ルートが整備されることにより、十津川温泉をはじめとする観光地への観光客数の増加が期待できます。また、紀伊半島沿岸部の観光地と連携した「紀伊半島観光周遊ネットワーク」に寄与します。

■地域間の交流促進

- 紀伊半島内陸部地域の生活の中心地である五條市、新宮市への所要時間が大幅に短縮されることにより、京阪神地域との結びつきも強化され地域間の交流が促されます。

■紀伊半島観光周遊ネットワークのイメージ図



■生活の利便性の向上

生活道路を通過していた大型車などが減少



■消防活動への貢献

地域の消防エリアの拡大、迅速な消火活動が可能

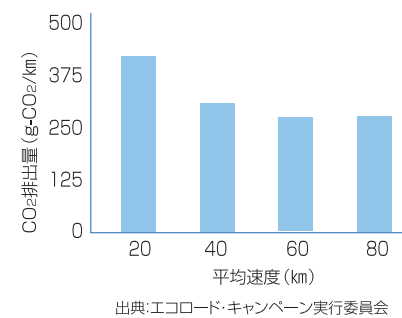
■安全・快適な通行の確保

- ・災害などによる通行止めの解消
- ・すれ違い困難箇所や急カーブ区間の解消



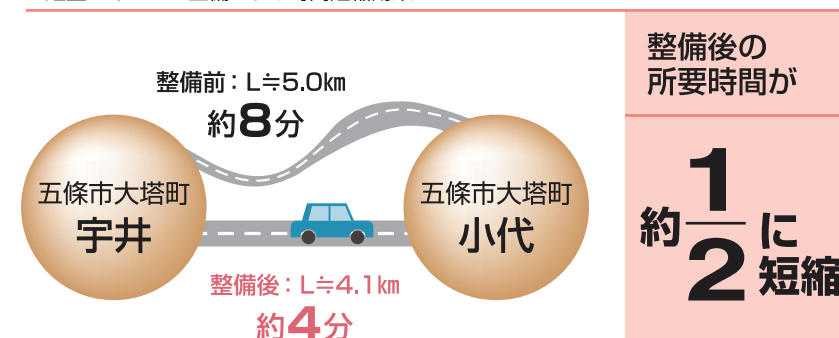
■バイパスが整備されると…

平均速度があがることでCO₂排出量が削減されます。



●辻堂バイパスが整備されると…

■辻堂バイパスの整備による時間短縮効果



現状 車両のすれ違いが困難